

公明クラブ 小池利雄 議員 消防団の処遇改善のINSID

質問(公明クラブ・小池利雄議員)

消防団員の活動状況、消防団の充足率及び処遇の状況について伺います。

答弁(消防長)

平成25年は市内で55件の火災が発生しました。そのうち消防団の出動回数は47回を数えています。また、台風などの大雨による河川の警戒や強風による倒木の除去などの災害出場や通常点検、操法競技会、防災訓練など、日ごろから訓練を行うとともに、特別警戒活動や災害に備えての消防団員としての資質の向上に向け



タブレットを使用した授業

ての訓練を行っています。

団員の充足率については、市消防団条例定数1039名に対して、本年3月1日現在の団員数は907名であり、充足率は87.3%であります。地域別で見ますと、大田原地区が充足率97.8%、黒羽地区が充足率82.7%、湯津上地区が充足率73.7%であります。消防団13分団55部のうち、充足率が100%に満たない部は33部となっております。処遇については、消防団員は非常勤特別職の地方公務員として、市条例に基づき消防団員報酬、火

公明クラブ 小池利雄 議員 平成26年度予算のINSID

質問(公明クラブ・小池利雄議員)

小中学校タブレット整備事業の内容と今後の運用方針について伺います。

答弁(市長)

知識基盤社会と言われる21世紀において、教育の情報化は喫緊の課題であり、本市は、県内の他市町に先駆けICT(情報通信技術)を活用した教育を推進しています。

この度、市内小中学校のコンピュータ教室の機器の更新時期に合わせ、平成25年9月より3

カ年の計画で、これまでのデスクトップパソコンにかえてタブレット型パソコンの導入を進めています。本年度は、既に7校の小学校に児童と教職員合わせて211台を導入しました。平成26年度は小中学校13校519台、平成27年度には残り9校に444台を整備する計画であります。

これまでの黒板や教科書、ノートの活用に加えてICTを授業に取り入れることで、より豊富なデジタル教材を用いたわ

かりやすい授業を行うことができます。また、学習支援ソフト等の活用により基礎的、基本的な知識、技能の習得と思考力、判断力、表現力や主体的に学習に取り組む態度が育成でき、学力向上を図ることにもつながります。また、個別に支援を必要とする子供たちに対しても特性や能力等に応じて活用することにより、大きな効果が期待できます。

市教育委員会では、昨年6月にタブレットパソコン研究会を立ち上げるとともに、3校のモデル校を指定したり先進校を視察したり、機器の操作方法や授業での活用法の研究を進めています。

災などの災害に出勤したときや訓練等に参加したときには旅費を支給しており、また消防団員として5年以上勤務をして退職した場合には、栃木県市町村総合事務組合より退職報償金が支給されていきます。

消防団員の活動は危険と隣り合わせの面があり、活動中に負傷した場合には公務災害補償制度が適用され、消防団員の福祉共済、火災共済等にも加入しています。

また、消防団員としての労苦に感謝し、功労に報いるため国、県、消防協会や市消防表彰規則に基づき、永年勤続団員等への表彰も行っています。



操法競技会の様子